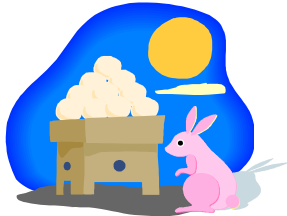


LIFE TIMES

三菱化学物流株式会社
<http://www.mclc.co.jp/>



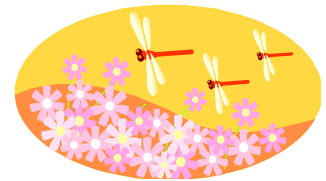
平成26年9月1日（月）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 芝 啓彦

第113号

【目次】

1. LIFE TIMES創刊20周年を迎えて
2. 尼崎油槽所 安全功労者総務大臣表彰受賞
3. トラック中型免許制度見直しについて
4. インターフェックスジャパン展 参加レポート
5. 場所紹介 ～東日本エリア営業部(小田原市)の巻～
6. LIFEによる物流改善提案のご紹介



1. LIFE TIMES創刊20周年を迎えて

ソリューション営業本部 ソリューション営業部長 白土 雄二郎

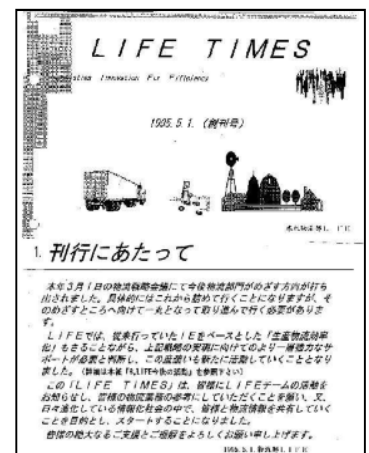
LIFE TIMESをいつもご愛読戴きまして誠にありがとうございます。お陰様で今回、創刊20周年を迎える事が出来ました。これも一重に皆様方のご支援の賜物です。

日本経済は、円安・株高で国内経済が持ち直すも、欧米や中国経済の不安定要素もあり、好況がはっきり実感できない状況にあります。物流業界では、軽油価格高騰、環境や安全対策費負担大、そして深刻なトラック運転手不足が表面化しています。「安定的な輸送サービスの供給」は私たちの使命であり、国や物流業界の施策とともにお客様のご理解をいただきながら、この難局を乗り切って参ります。

本誌は1995.5.1に創刊され、刊行の目的として「全社の物流効率化の進捗状況、効率化手法や各種物流技術情報を皆さんにお知らせするとともに、LIFEに対する皆さんからの意見・アイデアをお寄せいただくこと」にあります。即ち、情報を共有化することによってお互いのレベルアップを図っていきたくと考えております。」と記されています。

こうした信念のもとLIFE TIMESは既存・新規のお客様に向けて、当社のPRや物流情報の提供を目的として発行を継続して参りました。より面白く・読みやすくをモットーに掲載記事の選定、作成を心がけてきたつもりです。作成したものは当社HPにも掲載しており、これがきっかけで様々な方面からの問い合わせ、新規引き合いを頂戴する事もあり、営業支援としての役割も確かなものと感じております。

今後も、効率化案件の事例紹介、また解析ツールの開発による検討期間の短縮など、ソリューション営業部の活動内容を発信し、お客様のお役に立てるような内容に努力して参りますので、より一層のご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



1995年5月 創刊号

2. 尼崎油槽所 安全功労者総務大臣表彰受賞

この度、平成26年度安全功労者(団体)として、当社尼崎油槽所(兵庫県尼崎市)が総務大臣より表彰を頂きました。安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底または安全水準の向上の為、各種安全運動・安全の為の研究・教育、又は災害の発生防止・被害軽減に尽力、貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象に行われているものです。

尼崎油槽所は、昭和31年の設立以来、危険物保有事業所として、地域における防火安全の企業責任を十分認識し、防火管理体制・危険物保安体制の充実に努め、安全対策の徹底を推進して参りました。また、定期的に防災訓練・消防訓練を実施し、自衛消防体制の強化を図ると共に、尼崎市主催の研修会等にも積極的に参加し、従業員の安全教育に努め、更に、尼崎市危険物安全委員会、尼崎市防火協会中支部の危険物保安部会の委員として、地域社会における防火防災体制づくりに貢献して参りました。こうした点が評価され、今回の受賞となりました。

表彰式は、平成26年7月4日スクワール麴町(東京都千代田区)にて催され、橋本義信尼崎油槽所長が授与式に出席致しました。

尼崎油槽所の弛まぬ安全への取り組みが、今回このように評価されましたことは、油槽所員にとって、また、当社にとっても、大変喜ばしく誇りに思えることです。

しかし、今回の受賞に慢心せず、今後も危険物保有事業所として、日々の保安業務を厳しく、忠実にを行い、無事故・無災害の日々を積み重ねることができるように取り組んでまいります。



3. トラック中型免許制度見直しについて

中型免許制度は貨物自動車に係る交通事故防止を図る目的で2007年に施行されました。当該制度により一定の安全運転確保の効果が見られるようですが、トラック運送の労働力問題など制度と実態との間にギャップが生じているとの指摘がありました。具体的には、

- ・集配等で利用頻度の高い積載量2トンの貨物自動車が保冷設備等の架装により車両総重量が5トンを超えてしまうことが多い(中型免許が必要)
- ・中型免許の取得可能年齢が20歳であることから、同車両を高卒者が直ちに運転することができず、高卒者の就職にも影響を及ぼしている

そこで警察庁は昨年9月から5回にわたって行われた「貨物自動車に係る運転免許制度の在り方に関する有識者検討会」を実施し、その報告書を7月10日に発表しました。

具体的対応案として安全の確保、社会的合意の見通し、海外事例との整合性の視点から比較検証した結果、貨物自動車が大部分を占める車両総重量3.5トン以上7.5トン未満の自動車の運転免許について、貨物自動車を用いた試験・教習を行うことを必要とする新たな免許区分(18歳で取得可)を導入する案をベースに、更なる総合的な安全対策について検討を進めていくことが適当と提言しています。

当該報告を具現化した新しい制度が施行されればトラック運転手の不足の軽減の一助に繋がることが期待されます。

(2015年の通常国会に道路交通法の改正案を提出、予算関連法案が成立した後の2015年6月にも成立を目指している。)

免許区分案と取得年齢 (警察庁資料より)

	3.5t	5t	7.5t	11t
日本・現在	普通(18歳)	普通(18歳)	中型 (20歳・普通免許取得後2年以上)	大型 (21歳・普通免許取得後3年以上)
A案	普通(18歳)	普通(18歳)	中型 (20歳・普通免許取得後2年以上)	大型 (21歳・普通免許取得後3年以上)
B案	普通(18歳)	普通(18歳)	新区分 (18歳・普通免許取得後 年数不問) 中型 (20歳・普通免許取得後 2年以上)	大型 (21歳・普通免許取得後3年以上)
C案	普通(18歳)	新区分 (18歳・普通免許取得後 年数不問)	中型 (20歳・普通免許取得後 2年以上)	大型 (21歳・普通免許取得後3年以上)
EU指令	B(18歳)	C1(18歳)	C(21歳)	C(21歳)

→ 貨物自動車試験・教習を受ける範囲

4. インターフェックスジャパン展 参加レポート

7月2日～4日の3日間で東京国際展示場(ビックサイト)で開催された、第27回インターフェックス・ジャパン(医薬・化粧品・洗剤 研究開発・製造技術国際展)に参加してきました。本展示会は医薬・化粧品・洗剤を製造・開発するためのあらゆる機器・システム・技術の国際見本市で毎年開催されております。今年は1,020社と過去最大の展示があり、32,974名の来場者があったと報告されていますが、来年からは大阪でも開催されるそうです。開催初日に参加しましたが、多くの人で通路まで埋め尽くされ、外国人の方も多く来場されておりました。

会場の一画に物流・搬送ゾーンがあり、物流機器、輸送、倉庫会社等30社以上の展示がありましたが、日本のPIC/S* 加盟の事もあるのか、温度管理、トレーサビリティに関連したものが多く展示されていました。この分野での物流の最近の話題は、GDP(Good Distribution Practice)対応とバイオ医薬品対応で、海外メーカーの機器展示も幾つかありました。グローバルな医薬品流通が進展する中で、出荷されてから納品されるまでの全過程に於ける温湿度・振動等の履歴管理や高精度の温度管理容器、更には車輛の温度マッピングに対する要求が高まっている様です。海外航空会社や国際宅配便会社の展示にも力が入っている印象を受けました。医薬分野の物流は従来から治験薬等の業界独特なものも多かったのですが、温度管理やトレーサビリティ用の機器は他の分野でも活用可能ですので参考になるものが数多くありました。



*PIC/S:Pharmaceutical Inspection Convention(PIC)およびPharmaceutical Inspection Co-operation Scheme(PICS)
(医薬品査察協定および医薬品査察協同スキームの統合呼称)

5. 場所紹介 ～東日本エリア営業部(小田原市)の巻～

当営業部の湘南営業所は、小田原市にあるA社の物流も担当しており、協力会社と一緒にデリバリー業務を行っています。

城下町・小田原は神奈川県西部に位置し、江戸時代は「東海道五十三次」の中でも難所である箱根の山越えを控えた宿場町として栄え、また海に近い事から、新鮮な魚を提供する多数のお店で賑わったことと思われます。

現在は、箱根を越える有料道路が主要道路と繋がっていることから、日本を代表する企業の工場があり、最近では大手ネット通販の流通センターも稼働しています。

また、新鮮な魚介類を味わえる小田原漁港近くには安くておいしい食堂や購入した魚介類をその場で焼いて食べられる施設や蒲鉾屋があり、観光も充実しております。

また海や山などの自然に囲まれ四季を通じ温暖な気候に恵まれているため、滅多に雪は積もらない住みやすい環境にあり、歴史的には北条氏が城を構えていました。北条氏は上杉謙信、武田信玄の攻めを退けながらも、最後は豊臣秀吉に滅ぼされますが、現在の小田原城は桜の名所であり、5月の小田原三代祭りには地元芸能人も参加するなど、今では市民の憩いの場として親しまれています。



小田原城



報徳神社



二宮尊徳(金治郎)像



小田原から望む富士山

6. LIFEによる物流改善提案のご紹介

前回112号(2014.7.1発行)では「保管」の改善点としてロケーションや保管方法の見直しをご紹介しましたが、今回は現場状況を「可視化」することが可能な3Dシミュレーションソフト(株式会社シーイーシー社製RaLC)を使用した保管レイアウト改善案についてご紹介したいと思います。

このソフトは物流現場をシミュレーションし、物流機器の性能分析や人の作業分析を行うためのシミュレーションソフトウェアであり、画面上で人・運搬機器・包装機等を実際に動かし、検討した改善案が実現可能か確認する事が可能です。

今回は倉庫での保管レイアウト変更による作業性検証事例についてご紹介したいと思います。

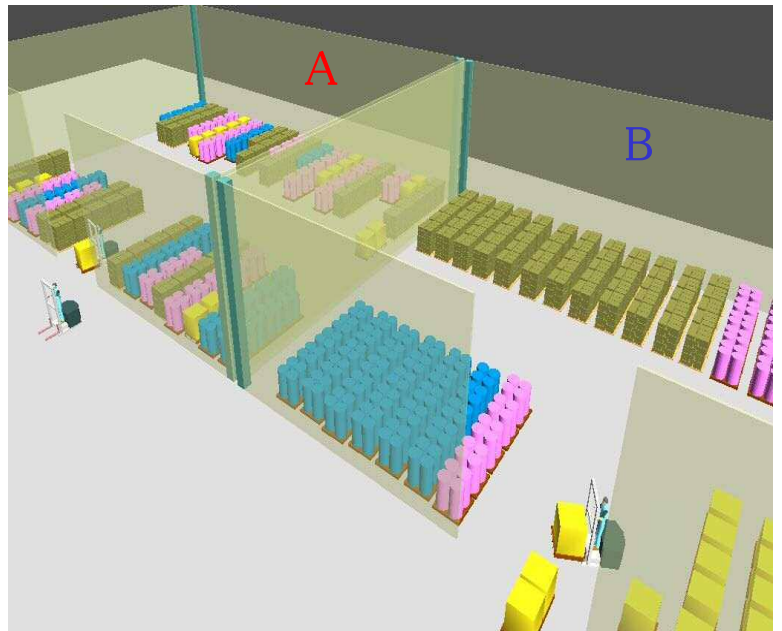
1. 倉庫Aでは4種類の荷姿が違う製品を纏まりなく保管
2. 倉庫Bでは倉庫Aと同数の製品を種類毎に保管スペースを設けて保管
3. 出荷製品(黄色BOX)は倉庫A・B共に同数
4. フォークリフト作業員の動作時間は倉庫A・B共に同じ

上記条件内で、製品を出荷するまでに要する時間を計測し、作業効率の良し悪しを検証します。

結果は倉庫Bの方が倉庫Aよりも作業時間が4分短縮しました。作業時間の短縮はこのシミュレーションソフトを使用することで、より定量的に試算することが可能です。

今回の事例を発展させますと、作業人数を変更した場合、ネステナー(ラック)を利用した場合なども、実際に画面上で作業員を動かしながら作業性や問題点を確認することができます。これにより、削減作業時間、最適ロケーション、最適人員配置など検討可能です。

また、当方よりお客様へ改善提案の説明を行う際にも「百聞は一見にしかず」と言うように、3D画像で変化がわかり易いと好評を頂いております。



芝のそよ風

ソリューション営業部 白石 弘美

「これまでに経験をしたことのないような大雨」が、昨今の豪雨の代名詞となるほど、災害はいつでも起きてもおかしくないもの、またその被害も測り知れないものとなりつつあります。身の回りの防災対策の必要性を強く感じつつも、「これまでにない・・・」のでは自ずと個人の力では限度があり、国や自治体、そして企業等の抜本的な対策を待たざるをえないのかも知れません。

さて、編集長の好意ではないでしょうが(笑)、創刊号～30号位までの編集担当だった私が、20周年号の「編集後記」に順番で当たるとは、不思議な巡り合わせです。創刊号はワープロで打った記事を切り貼りして作成し、「とにかく“LIFE”を知ってもらおう!!(LIFEは生命保険勧誘ではありませんヨ!?(苦笑))」ということで、言わば名刺代わりの紙面で、少し浸透したら終了と思っておりました。それが紆余曲折もありましたが、読者の皆さまのお陰で、今では新聞社並みの?!編集会議とチームワークで作成と、ここまで育てていただき、隔世の感とともに感謝の気持ちでいっぱいです。